

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	1年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	鍼灸基礎実習 I			担当教員	堀部吉隆・有馬香代		
授業の方法	実 技			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	鍼施術に関する基本的な技術と知識を習得し、安全かつ確実な施術を行なうことができる能力を身につける。施術者としての品位、道具の扱い、衛生管理について身につける。						
授業の到達目標	I. プロフェッショナリズム 1. 他者を思いやり尊重する態度 2. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 3. 自己点検・自己評価および自己研鑽に努める態度 4. リスク管理 5. はき施術を安全かつ適切に施す能力 6. 身だしなみ・礼儀やマナー 7. 聴く・観る・書く・伝える 8. 患者に対するホスピタリティ・共感的態度 9. 他者と良好な関係を構築できる能力 II. 医学的知識 III. 基本的臨床能力 IV コミュニケーション						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	オリエンテーション 鍼灸医療安全ガイドライン II. 手洗い		1	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺 横刺		
	2	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順		2	第1章 基礎実習 17手技 雀啄術 間歇術 屋漏術		
	3	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順 C) 挿管		3	第1章 基礎実習 17手技 振せん術 旋撚術 回旋術		
	4	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順 C) 挿管		4	第1章 基礎実習 17手技 乱針術 副刺激術 示指打法		
	5	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順 F) 抜鍼		5	第1章 基礎実習 17手技 随鍼術 内調術 細指術		
	6	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順		6	第1章 基礎実習 17手技 管散術 鍼尖転移法 刺鍼転向法		
	7	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順		7	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 前腕		
	8	第1章 基礎実習 2. 鍼の基本実技 (1) 管鍼法 A. 刺鍼の手順		8	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 前腕		
	9	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺		9	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 前腕		
	10	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺		10	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 前腕		
	11	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺		11	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 腰部 下腿		
	12	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺		12	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 腰部 下腿		
	13	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺		13	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 腰部 下腿		
	14	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺		14	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 腰部 下腿		
15	第1章 基礎実習 自己刺鍼 下肢 直刺 斜刺		15	第1章 基礎実習 5. 身体各部位の刺鍼 腰部 下腿			
評価基準	評価: 90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験40%、期末試験45%、授業態度(提出物)10%、出席5%の割合で評価します。			実務経歴	臨床歴: 23年 (東海医療学園附属総合臨床センター) 教員歴: 12年		
履修上の注意	身だしなみに注意し、遅刻、欠席、忘れ物をしないようにお願いします。			授業時間外の学習	時間が合えば、放課後の練習に付き合います。声をかけてください。		
使用教材	教科書: 東洋療法学校協会編 はりきゅう実技(基礎編) 参考図書: 医歯薬出版社 鍼灸医療安全ガイドライン 尾崎昭弘・坂本 歩編集 必要に応じてプリント配布			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねるか、E-mailでお願いします。		